

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	488 筑波山麓整備事業									
予算科目	01-070103-11 観光施設整備に要する経費					担当部課	経済部観光推進課			
市長公約						係名	観光施設係			
戦略プラン						新規・継続	継続			
						事業分類	自治事務（任意）			
						事業体制	一部委託			
個別計画	筑波山周辺観光整備基本構想、第3次つくば市観光基本計画					事業期間	毎年度			
根拠法令等						SDGs	15陸の豊かさを守ろう			

事業の概要

対象	市民、観光客									
目的	山麓地域の活性を図るとともに、宝篋山周辺観光施設の整備を進める。									
概要 (取組内容)	令和5年度は整備事業は実施しない。ただし、観光施設維持に要する経費（489観光施設維持管理事業）へ維持管理費を計上している。									

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
事業費	予算額	(千円)	5,775	6,666	0	1,298	1,298
	決算額	(千円)	44	6,316	0	0	0
	内訳	一般財源	(千円)	44	6,316	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	1,709	1,703	1,727	1,727	1,727
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.25	0.25	0.25	0.25
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(一) 無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	ホームページでの情報発信
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	特になし

指標の推移

1	指標名	つくば市観光入込客数 (万人)					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	424.0	427.0	430.0	444.0	458.0	472.0
	実績	425.0	272.0	243.3	247.7	393.7	0.0
	指標の概要	期間は1月から12月まで					

2	指標名	宝篋山観光入込客数 (万人)					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	9.5	12.0	12.1	9.5	9.9	0.0
	指標の概要	期間は1月から12月まで					
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		5月及び秋から年始までの行楽シーズンに既存の市有地を登山者用臨時駐車場として活用し、誘導員の配置や誘導看板を設置することで、来場者の利便性の向上を図った。
成果		繁忙期に臨時駐車場を設けたことにより路上駐車抑制となった。
課題	業務	登山者による登山道以外への進入及び山麓駐車場内での利用時間外の占用行為などが発生したため、注意喚起看板の設置や配置を行っていく必要がある。
	組織、予算等	
改善目標		登山道及び山麓駐車場への注意喚起看板を設置し不当行為の抑制を図る。

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続	
理由	宝篋山の登山者は増加傾向にある。そのため、宝篋山小田休憩所周辺の駐車場だけでは補えない期間も出ているため、近隣の市有地を活用し臨時駐車場の確保に努める必要がある。	

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	489 観光施設維持管理事業									
予算科目	01-070103-12 観光施設維持管理に要する経費					担当部課	経済部観光推進課			
市長公約						係名	観光施設係			
戦略プラン						新規・継続	継続			
						事業分類	自治事務（任意）			
						事業体制	一部委託			
個別計画	第3次つくば市観光基本計画					事業期間	毎年度			
根拠法令等						SDGs	15陸の豊かさを守ろう			

事業の概要

対象	市民、観光客									
目的	市内観光施設の快適性と利便性の向上を図る。									
概要 (取組内容)	快適で魅力ある観光地として、観光施設を適正に管理する。 筑波山頂施設維持管理、市営駐車場維持管理 観光案内施設維持管理、梅林維持管理 宝篋山休憩施設維持管理、荃崎地区観光施設維持管理									

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	96, 717	109, 516	116, 591	128, 218	133, 112	
	決算額	(千円)	91, 695	108, 382	104, 266	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	53, 568	66, 317	104, 266	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	38, 127	42, 065	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	7, 875	7, 857	9, 672	8, 634	8, 634	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1. 00	1. 00	1. 25	1. 25	1. 25
		正職員時間外勤務	(時間)	428. 00	428. 00	428. 00	0. 00	0. 00
		会計年度任用職員有無	(一) 有	有	有	有	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	ホームページ等での情報発信
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	特になし

指標の推移

1	指標名	つくば市観光入込客数 (万人)					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	424.0	427.0	430.0	444.0	458.0	472.0
	実績	425.0	272.0	243.3	247.7	393.7	0.0
	指標の概要	期間は1月から12月まで					

2	指標名	市営筑波山駐車場利用台数（普通車）（台）					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	86,600.0	88,660.0	88,660.0	88,660.0	88,660.0	88,660.0
	実績	76,166.0	68,491.0	70,627.0	77,441.0	74,359.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	市営筑波山駐車場利用台数（大型車）（台）					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	1,100.0	1,100.0	1,100.0	1,100.0	1,100.0	1,100.0
	実績	938.0	622.0	847.0	893.0	790.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名						
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名						
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		修繕計画のとおり、筑波山おもてなし館の外壁改修及び筑波山観光案内所のロールカーテン増設、森林体験パークコース改修を実施した。また、豪雨の影響で破損した山麓駐車場法面の緊急修繕を実施し、利用者の安全を図った。
成果		修繕計画を現況に合わせ随時見直しを行い、各施設の修繕を適宜行うことで利用者の利便性の向上を図った。
課題	業務	既存施設における老朽化の改修や破損修繕などが適宜必要となる。
	組織、予算等	特殊な施設の修繕や土木工事などにおいても担当課で迅速に対応が必要となる案件が多いため、専門的な知識を持ち経験のある職員の配置が必要である。
改善目標		各施設の不具合箇所等の修繕や改修を適宜行い、適正な施設保全を行う。また、各施設の見回りの強化により、適正な維持管理を行うことで利用者の満足度向上を図る。

評価

市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続	
理由	利用者の利便性及び満足度向上のため、適宜施設修繕を実施し適正に施設を管理運営していく必要がある。	

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	494 くさざき夢まつり事業									
予算科目	01-070103-13 観光行事に要する経費					担当部課	経済部観光推進課			
市長公約						係名	観光イベント推進係			
戦略プラン						新規・継続	継続			
						事業分類	自治事務（任意）			
						事業体制	補助金（直接）			
個別計画	第3次つくば市観光基本計画					事業期間	毎年度			
根拠法令等						SDGs	15陸の豊かさを守ろう			

事業の概要

対象	市民									
目的	茎崎地域の活性化及び世代間交流の促進を図る。									
概要 (取組内容)	地域のふれあいの場としてS49年から商工産業祭、H12年度からひまわりまつりとして開催され、地域のお祭りとして定着している。 現在は、地域活性化を促進するため、茎崎地区の区会長や、PTAの関係団体等により実行委員会が組織されており、より地域に根ざした市民参加型のイベントとなっていることから、当該事業に対し、開催のための補助金を交付するとともに、助言等を行う。									

コストの推移

項目				令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
事業費	予算額		(千円)	600	600	600	639	639
	決算額		(千円)	0	0	600	0	0
	内訳	一般財源	(千円)	0	0	600	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計		(千円)	699	1,504	873	0	0
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.10	0.20	0.10	0.00	0.00
		正職員時間外勤務	(時間)	6.00	58.00	75.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	
企画・立案、計画	
実行	
評価、検証	

指標の推移

1	指標名	くさざき夢まつりへの来場者数 (人)					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	7,000.0	7,000.0	7,000.0	7,000.0	7,000.0	7,000.0
	実績	8,000.0	0.0	0.0	0.0	7,000.0	0.0
	指標の概要	主催者発表（令和2年度から令和4年度は新型コロナウイルスの影響で中止のため実績なし）					

2	指標名	()					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		実行委員会事務局体制の強化に向けて、4年ぶりの開催となる経験不足を埋めるために、過去の実績を踏まえた打合せを行うとともに、補助事業の実施手法についてプロセスごとに打合せを行った。
成果		茎崎運動公園で開催し、雨天により客足は想定を下回ったが、7,000人が来場し、賑わいを創出することができた。また、地域の団体やサークルに協力を仰いでイベントや出店を行うことで、地域コミュニティの拡大に繋げることができた。
課題	業務	当該事業は地域の賑わい創出、コミュニティの拡大を目的・成果とするものであることから、実行委員会事務局の主体的な事業であるものの、さらに実行委員会事務局の役割が大きくなるように協議が必要である。
	組織、予算等	
改善目標		今年度よりも行政に関わる部分を削減する。

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	3	民間活力や民間ノウハウを活用できる事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	495 つくば観光コンベンション協会補助事業									
予算科目	01-070103-14 観光振興に要する経費					担当部課 係名	経済部観光推進課			
市長公約							観光振興係			
戦略プラン						新規・継続	継続			
						事業分類	自治事務（任意）			
						事業体制	補助金（直接）			
個別計画	第3次つくば市観光基本計画					事業期間	毎年度			
根拠法令等	特になし					SDGs				

事業の概要

対象	観光客									
目的	行政を超えた領域の観光事業の充実を図る。									
概要 (取組内容)	つくば観光コンベンション協会に対する指導、助言を行い適正な運営を図る。 誘客のための観光キャンペーンやイベント実施の際に連携を図る。									

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	45, 621	45, 621	45, 621	48, 294	48, 294	
	決算額	(千円)	45, 621	45, 621	45, 621	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	45, 621	45, 621	45, 621	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	1, 367	1, 362	1, 382	1, 382	1, 382	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0. 20	0. 20	0. 20	0. 20	0. 20
		正職員時間外勤務	(時間)	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	つくば市観光入込客数 (万人)					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	424.0	427.0	430.0	444.0	458.0	472.0
	実績	425.0	272.0	243.3	274.7	393.7	0.0
	指標の概要	観光庁が策定した「観光入込客統計に関する共通基準」に基づき、観光入込客をカウント 1月から12月までの年集計					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		コロナ収束後の本格的な事業展開として、令和5年11月にオープンしたジオミュージアムで、新たな観光誘客事業となるアニメコンテンツを活用した企画をつくば観光コンベンション協会主催で実施している。つくば観光コンベンション協会の収益化に繋げられるよう、市も企画、PRなどで協力し支援している。
成果		つくば観光コンベンション協会に財政支援し、経営の安定化と観光誘客の推進を図ることができた。また、今年度からつくば市観光推進課との定例会を実施し業務調整、会計処理審査などを行い、定期的にコミュニケーションをとる機会を設けたことで円滑な業務連携が可能となった。また、令和5年12月に開始したアニメコンテンツ観光PR事業では、12月のオープン以後週末200人近くの来場者がある状況である。
課題	業務	令和5年12月に開始したアニメコンテンツ観光PR事業の収益化と安定的な事業の継続が課題である。
	組織、予算等	つくば観光コンベンション協会に補助金を交付する上で、当該協会職員に事業のスクラップ＆ビルドの考え方を指導し、マンパワーや経費の適正化を図る必要がある。
改善目標		つくば観光コンベンション協会の新規事業であるアニメコンテンツ観光PR拠点化事業の体制強化や企画の磨き上げに市として協力することで、事業の安定化らなる観光産業の振興に資する取り組みを連携しながら推進していく。

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	496 観光振興事業									
予算科目	01-070103-14 観光振興に要する経費					担当部課	経済部観光推進課			
市長公約	127-1					係名	観光振興係			
戦略プラン						新規・継続	継続			
						事業分類	自治事務（任意）			
						事業体制	一部委託			
個別計画	第3次つくば市観光基本計画					事業期間	毎年度			
根拠法令等	特になし					SDGs				

事業の概要

対象	観光客									
目的	つくば市の観光産業の振興を促進するとともに、地域経済の活性化を図る。									
概要 (取組内容)	市内の観光情報の発信（つくば市の魅力を紹介することにより、市内外の多くの方に市の魅力を知っていただき、ひいてはリピーターの増加を目指す。） 観光ガイドブックの作成及び効果的な配布、メディアへの情報発信等を積極的に実施する。									

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	19,219	6,648	6,695	18,860	18,860	
	決算額	(千円)	11,959	5,836	5,760	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	11,959	5,836	5,760	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	8,176	4,209	4,144	4,144	4,144	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.00	0.60	0.60	0.60	0.60
		正職員時間外勤務	(時間)	552.00	50.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(一) 有	有	有	有	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	HPやSNS等での観光情報発信									
企画・立案、計画	—									
実行	—									
評価、検証	—									

指標の推移

1	指標名	つくば市観光入込客数 (万人)					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	424.0	427.0	430.0	444.0	458.0	472.0
	実績	425.0	272.0	243.3	274.7	393.7	0.0
	指標の概要	観光庁が策定した「観光入込客統計に関する共通基準」に基づき、観光入込客をカウント 1月から12月までの年集計					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		昨年度撮影した写真、動画を活用して、リニューアルした市ＨＰ内に観光特設サイトを設け、サイト内を編集し視認性を高めるとともに、写真等をオープンデータ化し、メディ提供を簡便化を図った。また、茨城デスティネーションキャンペーン等への素材提供を実施し、広くＰＲ展開することができた。
成果		茨城デスティネーションキャンペーンの枠組みで、国内外へのＰＲを実施し観光情報の発信強化を図った。また、パンフレットの発行やＳＮＳを活用した観光情報の広告掲出に加えて、つくばの魅力である「科学」「宇宙」を題材にしたアニメコンテンツとコラボレーションした「地球の歩き方」の発行協力など、多様なジャンルで広告物を発行し多面的にアプローチすることができた。
課題	業務	今年度実施した広報ターゲットを整理分析し、情報発信が不足している層に対して対策する必要がある。
	組織、予算等	特になし。
改善目標		ターゲットを整理分析し、幅広いターゲットへの情報発信を実施する。また、市内観光スポットや季節を変えて撮影し、つくば市の四季折々の魅力を発信できるようにする。

評価

市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	4	市民生活への影響等を鑑みて、優先的に取り組むことが必要と判断される。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	497 つくば市学術会議支援事業									
予算科目	01-070103-14 観光振興に要する経費					担当部課	経済部観光推進課			
市長公約						係名	観光振興係			
戦略プラン						新規・継続	継続			
						事業分類	自治事務（任意）			
						事業体制	補助金（直接）			
個別計画	第3次つくば市観光基本計画					事業期間	毎年度			
根拠法令等	特になし					SDGs				

事業の概要

対象	市民、観光客
目的	つくば市内における学術会議の開催促進を図る。
概要 (取組内容)	学術会議主催者に対する支援策の一環として補助金交付及び開催準備金の貸付を実施し、それに伴う窓口業務及び広報活動をつくば観光コンベンション協会へ事務委託する。

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	24,445	15,602	23,253	19,661	19,661	
	決算額	(千円)	2,163	7,296	16,500	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	2,163	7,296	16,500	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	684	1,362	1,382	1,382	1,382	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.10	0.20	0.20	0.20	0.20
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	市民公開講座等への会議参加
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	国際会議開催数 (回)					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	50.0	53.0	56.0	59.0	63.0	65.0
	実績	63.0	1.0	0.0	17.0	47.0	0.0
	指標の概要	市内で開催された学術会議（MICE）の回数※目標値は、H27年度「まち・ひと・しごと創生事業」評価指数					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		補助金の建付けを、市内への経済効果をより促したり、市民参加型プログラム等を開催する会議の誘致を強化する内容に改訂するための検討を行った。また、今年度募集の補助金から、予算上限を設けた。
成果		つくば観光コンベンション協会やつくば国際会議場と連携しながら、令和6年度募集、令和7年度交付分の補助金の建付けについて改訂案を作成した。 県MICE誘致推進協議会と連携し、県単位でのMICE誘致策について検討を行った。
課題	業務	今年度作成した改訂版の補助金交付の建付けを令和6年度募集分から運用し、申請団体にとって使い勝手の良い内容になっているか、地域事業者や住民への恩恵享受のためになっているか適宜検証を行う。
	組織、予算等	令和5年度から県協議会に参画した水戸市も含めて、県全体でのMICE誘致について検討を行っていく。県単位でのMICE開催助成金の創設を要望する。
改善目標		県協議会を連携しながら、効果的な補助金交付を行い、市民及び市内事業者が恩恵を受け、市内経済波及効果をより大きくしていく。

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	4	市民生活への影響等を鑑みて、優先的に取り組むことが必要と判断される。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	498 筑波山交通渋滞対策事業									
予算科目	01-070103-14 観光振興に要する経費					担当部課 係名	経済部観光推進課 観光振興係			
市長公約										
戦略プラン						新規・継続	継続			
						事業分類	自治事務（任意）			
						事業体制	一部委託			
個別計画	第3次つくば市観光基本計画					事業期間	毎年度			
根拠法令等	特になし					SDGs				

事業の概要

対象	市民、観光客									
目的	春と秋の行楽シーズンを中心に多くの観光客が筑波山を訪れることによる渋滞等の緩和を図るもの。									
概要 (取組内容)	ゴールデンウィーク及び秋の行楽シーズンに関係機関と連携し筑波山の交通渋滞対策として、渋滞情報や駐車場の満空情報等の情報発信、混雑箇所への警備員の配置、看板設置によるパープルライン方面への迂回誘導、女体山山頂の一方通行化による動線確保等を実施する。									

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	3,092	3,194	4,731	4,141	4,141	
	決算額	(千円)	3,312	2,433	1,973	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	3,312	2,433	1,823	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	150	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	4,118	4,110	2,763	3,454	3,454	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.50	0.50	0.40	0.50	0.50
		正職員時間外勤務	(時間)	288.00	288.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	有	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	HP、SNSでの渋滞情報の発信、う回路看板の掲示
企画・立案、計画	住民アンケート実施
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	渋滞対策実施日数 (日)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0
	実績	20.0	12.0	16.0	17.0	17.0	0.0
	指標の概要	春と秋に実施した渋滞対策の対応日数					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		渋滞について地元住民、地元事業者、来訪者の声を聴くため、GWに来訪者アンケート、6月に住民及び事業者アンケートを実施し、要望やアイディアを関係機関と共有した。
成果		警備員の配置について、市営筑波山第1駐車場の入庫待ちが県道まで溢れてしまうことを防ぐため、警備員の配置場所、人数を見直して誘導を行った。う回路看板のデザイン見直しを行い、視認性の向上を図った。土浦北ICからつつじが丘へのう回路動画を撮影し、HPやSNS等で情報発信した。 女体山山頂直前の広場に矢羽根看板を設置し、人の滞留時間削減を図った。
課題	業務	令和5年度に実施したアンケート結果を踏まえ、対策内容を見直していく。
	組織、予算等	県、交通事業者、観光協会などの関係者と協働で方針を検討する。
改善目標		情報発信の強化を引き続き行っていく。

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	－

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	499 おもてなし観光推進事業									
予算科目	01-070103-14 観光振興に要する経費					担当部課 係名	経済部観光推進課			
市長公約							観光振興係			
戦略プラン						新規・継続	継続			
						事業分類	自治事務（任意）			
						事業体制	全て委託			
個別計画	第3次つくば市観光基本計画					事業期間	毎年度			
根拠法令等	特になし					SDGs				

事業の概要

対象	市民、観光客									
目的	つくば市への観光客の満足度の向上を図る。									
概要 (取組内容)	観光ボランティアガイドの育成については、つくば観光コンベンション協会に委託して実施している。 観光ボランティアガイドは、つくば市内の観光ガイドを行う。									

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	8,636	8,490	8,788	9,777	9,777	
	決算額	(千円)	8,370	8,519	8,721	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	8,370	8,519	8,721	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	1,375	689	691	691	691	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.20	0.10	0.10	0.10	0.10
		正職員時間外勤務	(時間)	3.00	3.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	筑波山観光入込客数 (万人)					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	200.0	200.0	200.0	220.0	240.0	260.0
	実績	250.0	228.0	186.0	184.1	207.2	0.0
	指標の概要	観光庁が策定した「観光入込客統計に関する共通基準」に基づき、筑波山観光入込客をカウントした値（年集計）					

2	指標名	ボランティアガイド登録人数 (人)					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0
	実績	50.0	52.0	43.0	42.0	46.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		つくば観光コンベンション協会と観光ボランティアガイドと連携し、アンケートの実施方法や調査項目を検討し、令和6年度からの実施に向けて準備を進めている。
成果		コロナウイルス流行の影響で来訪者数は一時的に落ち込んだが、観光ボランティアガイドの地道な取り組みが来訪者回復に寄与している。ボランティアガイド団体のHPやSNS、動画配信サイトなどを活用し、活動状況やガイド目線の観光スポット等を撮影し動画でPRを実施するなど、工夫しながら活動を行っている。また、「観光協力の家」登録者を1件追加しさらなるおもてなしの充実を図った。
課題	業務	筑波山ガイドに加え、サイエンスツアーのガイドも行っており、引き続きおもてなし研修や意見交換会等を実施し「おもてなし」意識と質の向上を図る必要がある。
	組織、予算等	ボランティアガイドの運営の安定を図り、持続可能な観光地域づくりに向けた検討を行う必要がある。
改善目標		ボランティアガイドの運営の安定化を図るためおもてなし意識の向上と、ガイドの質の向上を図る取り組みとして、アンケートを実施し事業への反映を検討する。

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	3	やや遅れたが、今年度の事業計画は達成された。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	506 観光客動態調査事業									
予算科目	01-070103-15 観光客動態調査に要する経費					担当部課 係名	経済部観光推進課 観光振興係			
市長公約										
戦略プラン						新規・継続	継続			
						事業分類	自治事務（任意）			
						事業体制	一部委託			
個別計画	第3次つくば市観光基本計画					事業期間	毎年度			
根拠法令等	特になし					SDGs				

事業の概要

対象	市民、観光客									
目的	観光施策の適正な実施及び推進に必要な基礎資料を得る。									
概要 (取組内容)	つくば市内の代表的な見学可能な研究施設等及び筑波山・宝篋山への入込数を調査し、県に報告する。 (委託) 筑波山は交通量調査から入込客数を測定し、その他については各施設から報告を受け、県に報告する。 なお、通年調査の他、集客数の大きいイベントの来場者数も報告を行っている。									

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	328	328	340	340	340	
	決算額	(千円)	292	187	194	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	172	66	70	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	120	121	124	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	684	1,362	691	0	0	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.10	0.20	0.10	0.00	0.00
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	観光客（筑波山・宝篋山観光客）入込数調査日数（日）					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0
	実績	11.0	12.0	10.0	8.0	8.0	0.0
	指標の概要	筑波山の交通量調査と宝篋山での駐車台数及び通行人数調査日数					

2	指標名	つくば市観光入込客数 (万人)					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	424.0	427.0	430.0	444.0	458.0	472.0
	実績	425.0	272.0	243.0	274.7	393.7	0.0
	指標の概要	観光庁が策定した「観光入込客統計に関する共通基準」に基づく観光入込客をカウントした値 1月から12月までの年集計					
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		第3次つくば観光基本計画中間検証会議にて、本事業で調査・集計した数値と駐車場利用台数などの他の数値をかけ合わせることで観光施策の方向性について検討することができた。
成果		つくば市内の代表的な研究施設（見学受入施設）等からの情報収集及び筑波山・宝篋山での調査を行ったことで、つくば市の入込客数を把握することができた。※筑波山・宝篋山は交通量調査から入込客数を測定し、その他については各施設から報告を受けた数値を県に報告した。
課題	業務	本事業で集計したデータ以外のデータにも視野を広げ、分析方法や利活用方法について検討をする必要がある。
	組織、予算等	特になし
改善目標		本事業で集計したデータ以外のデータにも視野を広げ、分析方法や利活用方法について検討をする。

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	491 まつりつくば事業																
予算科目	01-070103-13					観光行事に要する経費					担当部課	経済部観光推進課					
市長公約												係名	観光イベント推進係				
戦略プラン	I-2	2	1	観光イベントの開催							新規・継続	継続					
											事業分類	自治事務（任意）					
											事業体制	補助金（直接）					
個別計画	第3次つくば市観光基本計画										事業期間	毎年度					
根拠法令等											SDGs	15陸の豊かさを守ろう					

事業の概要

対象	市民
目的	市民が参加できるイベントの開催により、地域交流及び世代間交流の促進を図るとともに、つくば市の魅力を広く発信することで、地域経済の活性化を図る。
概要 (取組内容)	つくば駅周辺で市内最大級の夏祭りを開催する。 神輿やねぶたの運行などを含めて、実施するイベントは、魅力的なアイデアを持った市民の参加を促すため、公募する。

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	30,800	30,800	30,800	45,000	45,000	
	決算額	(千円)	10,102	12,195	28,831	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	10,102	12,195	28,831	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	10,823	15,039	24,613	22,127	22,127	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.50	2.00	3.00	3.00	3.00
		正職員時間外勤務	(時間)	235.00	580.00	1,605.00	580.00	580.00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	ホームページやSNSによる情報発信、チラシの配布
企画・立案、計画	イベントの参加団体を募集
実行	
評価、検証	

指標の推移

1	指標名	来場者数 (人)					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	470,000.0	450,000.0	450,000.0	450,000.0	450,000.0	450,000.0
	実績	470,000.0	0.0	0.0	0.0	480,000.0	0.0
	指標の概要	主催者発表（令和2、4年度は中止、3年度はオンライン等での開催のため来場者数の発表はなし）					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		関係者庁内関係部署と協議を行い、4年ぶりにつくば駅周辺を会場として、大きな事件、事故なく開催することができた。
成果		4年ぶりにつくば駅周辺を会場として、8月25日、26日にまつりつくばを開催した。イベントとして、ねぶた・神輿等の大パレード、飲食出店のまんぷく広場、アートタウンなど11にイベントを実施し、2日間で48万人が来場した。また、大会本部会議を5回、実行委員会を3回開催し、多面的に意見を聴取し開催準備にあたった。
課題	業務	熱中症患者やけが人への対応、職員が使用する無線、携帯電話等の通信混雑が喫緊の課題である。
	組織、予算等	
改善目標		傷病者に対して迅速に対応できるような救護環境の構築、携帯電話通信状況の確認、安定に使用できる無線の検討を行う。

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	3	民間活力や民間ノウハウを活用できる事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	493 つくばフェスティバル事業															
予算科目	01-070103-13					観光行事に要する経費					担当部課	経済部観光推進課				
市長公約											係名	観光イベント推進係				
戦略プラン	I-2	2	1	観光イベントの開催							新規・継続	継続				
											事業分類	自治事務（任意）				
											事業体制	補助金（直接）				
個別計画	第3次つくば市観光基本計画										事業期間	毎年度				
根拠法令等											SDGs	15陸の豊かさを守ろう				

事業の概要

対象	市民
目的	つくば市の多種多様な魅力を市内外へ発信し、新生活がスタートした新緑の季節を彩る晴れやかなイベントとして、多くの来訪者に愛されるイベントを開催する。
概要 (取組内容)	つくばセンター広場と大清水公園を会場として、飲食出店やステージパフォーマンス、消防フェアやフォレストアドベンチャー、市内学園の科学部による工作教室などの体験イベントを開催する。

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	4,500	4,500	4,500	7,000	7,000	
	決算額	(千円)	1,431	4,129	4,311	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	1,431	4,129	4,311	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	6,322	6,016	7,385	6,642	6,642	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.90	0.80	0.90	0.80	0.80
		正職員時間外勤務	(時間)	70.00	232.00	482.00	460.00	460.00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	ホームページやSNSによる情報発信、チラシの配布
企画・立案、計画	
実行	
評価、検証	

指標の推移

1	指標名	つくばフェスティバルへの来場者数 (人)					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	140,000.0	150,000.0	150,000.0	150,000.0	150,000.0	150,000.0
	実績	150,000.0	0.0	0.0	0.0	90,000.0	0.0
	指標の概要	主催者発表（令和2年度は中止、令和3年度及び令和4年度は代替イベント開催のため実績なし）					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		新たな企画として、つくば市地酒等による乾杯の推進に関する条例に基づく、地酒を楽しむことができる「乾杯エリア」の設置、来場者に会場全体を回遊していただくためのスタンプラリーを企画・実施した。
成果		4年ぶりにつくばセンター広場及び大清水公園を会場として開催し、9万人が来場した。新たな企画として「乾杯エリア」や会場全体を対象としたスタンプラリーを実施した。
課題	業務	つくばセンター広場周辺では賑わい創出のため、様々なイベントが開催されるようになっており、他のイベントとの差別化が必要である。
	組織、予算等	
改善目標		メインテーマである「科学と国際交流」に沿ったイベントを新たに企画して、他のイベントとの差別化を図る。

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	3	民間活力や民間ノウハウを活用できる事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	487 筑波山観光施設整備事業（旧：筑波山梅林及びその周辺整備事業）									
予算科目	01-070103-11 観光施設整備に要する経費						担当部課	経済部観光推進課		
市長公約	128		130				係名	観光施設係		
戦略プラン	I-2	2	2	体験型観光の推進			新規・継続	継続		
							事業分類	自治事務（任意）		
							事業体制	補助金（間接）		
個別計画	筑波山梅林及び周辺整備計画 等						事業期間	毎年度		
根拠法令等							SDGs	15陸の豊かさを守ろう		

事業の概要

対象	市民、観光客
目的	筑波山の観光資源を最大限に有効活用し、年間を通じて誘客を行うことで、周辺観光産業の活性化を図る。
概要 （取組内容）	筑波山周辺地域の周遊促進及び訪日外国人の満足度向上を図るため、一部に補助金を活用し、関連施設の整備を行う。 令和5年度の主なものとして、筑波ふれあいの里キャンプ場の土木改修工事、筑波山展望デッキ整備工事などを行う。

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	247,564	26,309	177,706	206,132	51,500	
	決算額	(千円)	219,901	24,827	107,367	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	52,766	20,956	38,794	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	167,135	3,871	68,573	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	7,335	7,314	9,134	7,407	7,407	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.00	1.00	1.25	1.00	1.00
		正職員時間外勤務	(時間)	206.00	206.00	206.00	206.00	206.00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	ホームページ等での情報発信
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	特になし

指標の推移

1	指標名	筑波山観光入込客数 (万人)					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	200.0	200.0	200.0	200.0	200.0	200.0
	実績	250.0	228.0	186.8	184.0	207.1	0.0
	指標の概要	期間は1月から12月まで					

2	指標名	市営筑波山駐車場利用台数（普通車）（台）					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	86,600.0	86,600.0	86,600.0	86,600.0	86,600.0	86,600.0
	実績	76,166.0	68,491.0	70,627.0	77,441.0	74,359.0	0.0
	指標の概要	3月13日現在					
3	指標名	市営筑波山駐車場利用台数（大型車）（台）					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	1,100.0	1,100.0	1,100.0	1,100.0	1,100.0	1,100.0
	実績	938.0	622.0	847.0	893.0	790.0	0.0
	指標の概要	3月13日現在					
4	指標名	（台）					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	（台）					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		筑波山観光の魅力度向上を図るため、筑波ふれあいの里キャンプ場の土木改修工事を実施した。また、老朽化し景観を損ねていた市営筑波山第2駐車場公衆トイレの解体を実施した。
成果		令和6年度工事に向け適宜準備を進めることができた。
課題	業務	筑波山観光の魅力度向上させるため、既存施設の適宜改良及び不足施設等の整備が必要である。
	組織、予算等	専門的工事を担当課で実施するため、専門技術や知識を持った職員の配置が必要である。
改善目標		利用者のニーズを考慮し、観光施設の整備・改修を実施することで筑波山観光の魅力度向上に繋げる。

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取り組む必要性が高い。

方向性

方向性	拡大・拡充
理由	コロナ禍により減少した観光客を呼び戻し、かつりピーター率上昇のため筑波山観光における利用者の利便性向上や魅力度向上を図るための整備を行っていく必要がある。

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	492 森林体験パーク施設管理事業									
予算科目	01-070103-12 観光施設維持管理に要する経費					担当部課	経済部観光推進課			
市長公約							係名	観光施設係		
戦略プラン	I-2	2	2	体験型観光の推進			新規・継続	新規		
							事業分類	自治事務（任意）		
							事業体制	一部委託		
個別計画							事業期間	毎年度		
根拠法令等							SDGs	15陸の豊かさを守ろう		

事業の概要

対象	市民、観光客
目的	市有地の保全を図りながら、新たな観光の活性化に繋げる。
概要 (取組内容)	筑波山の自然をテーマに森林を活用した自然共生型アウトドアパークとして、魅力ある通年型観光施設を提供する。 また、快適で安全な施設利用を提供するため、装具の更新やコース内の安全管理、樹木医による立木の調査により適正な維持管理を行う。 ※PR：ホームページやチラシの配布での情報発信、つくば市民の日キャンペーンや梅まつりでのイベント共催

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	5,422	5,283	4,866	3,608	41,465	
	決算額	(千円)	1,934	3,124	3,275	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	-7,792	-6,782	-4,374	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	9,726	9,906	7,649	0	0
人件費	人件費計	(千円)	3,417	3,405	3,454	3,454	5,180	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.50	0.50	0.50	0.50	0.75
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	ホームページ等での情報発信
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	特になし

指標の推移

1	指標名	施設利用者数 (人)					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	15,000.0	15,000.0	15,000.0	15,000.0	15,000.0
	実績	0.0	10,337.0	13,999.0	14,359.0	12,585.0	0.0
	指標の概要	(個別施策 I-2-②豊かな資源をいかした観光の推進) ※令和2年度より報告開始					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		チラシの増刷や配布先の開拓を実施し、認知度向上を図った。また、ナラ枯れ対策を実施し樹木の適正管理を行い、かつコースの安全を図るため修繕を適宜行なった。
成果		施設の適正な維持管理により利用者の安全性を確保した。
課題	業務	森林体験パークでコースに利用している限られた樹木を維持していくため、樹木医による樹木調査や病気予防の薬剤投与、コースの調整など施設の長寿命化を図る必要がある。
	組織、予算等	
改善目標		屋外施設であることから天候等に左右されるため、施設のPR強化を図り、新規利用者やリピーター率の上昇を図る。また、施設の改修や修繕を実施し安全性を高め利用者の獲得を図る。

評価

市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	3	民間活力や民間ノウハウを活用できる事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取り組む必要性が高い。

方向性

方向性	継続	
理由	観光施設維持管理における貴重な収入源であり、筑波山観光における登山以外の重要な事業を維持していく必要がある。	

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	500 周遊観光促進事業（旧：フットパス事業）									
予算科目	01-070103-14 観光振興に要する経費						担当部課	経済部観光推進課		
市長公約	90-1		93-3				係名	観光振興係		
戦略プラン	I-2	2	2	体験型観光の推進			新規・継続	継続		
							事業分類	自治事務（任意）		
							事業体制	一部委託		
個別計画	第3次つくば市観光基本計画						事業期間	毎年度		
根拠法令等	特になし						SDGs	15陸の豊かさを守ろう		

事業の概要

対象	市民、観光客									
目的	地域の観光資源のブラッシュアップ及びGWや紅葉期等に筑波山へ集中する観光客の分散化を図るため、筑波山麓地域や各地域のマップ、地域の団体が作成したマップ等を活用し、周遊観光を促進する。									
概要 （取組内容）	市内観光資源の発掘と磨き上げをし、観光資源を結び付けた周遊ルート化を行う。市民や市外からの来訪者が休日に市内をめぐることができる環境を造成し、周遊観光の促進を図る。また、フットパス事業や造成したルートの周知徹底をする。									

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	187	5,667	3,256	3,700	3,700	
	決算額	(千円)	1,804	5,613	2,850	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	1,304	5,313	2,850	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	300	0	0	0
		その他	(千円)	500	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	5,728	6,957	4,182	4,872	4,872	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.80	1.00	0.50	0.60	0.60
		正職員時間外勤務	(時間)	107.00	60.00	300.00	300.00	300.00
		会計年度任用職員有無	(一) 無	有	有	有	有	

市民参加の取組状況

共有、理解	フットパスマップを作成し、市公式ホームページへの掲載及び市内各所に配架することでの情報発信。
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	フットパスマップ増刷部数 (部)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	1,000.0	2,000.0	2,000.0	2,000.0	2,000.0	2,000.0
	実績	3,000.0	8,000.0	8,000.0	31,000.0	32,000.0	0.0
	指標の概要	配布及び補充用にフットパスマップを増刷した部数					

2	指標名	電子スタンプラリー参加者数 (人)					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	1,000.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	967.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	電子スタンプラリーに参加した人数。R5年度以降は、事業方針変更により「3周遊コース数」を指標とする。					
3	指標名	周遊コース数 (コース)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	11.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0
	指標の概要	R5年度以降は、これまで電子スタンプラリーで得たデータを基に、観光資源を結ぶ周遊ルート造成とPRを実施する事業方針となったため目標値を周遊コース数に修正。					
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		ターゲット・目的を明確にした市内周遊コースの設定については、プロポーザルにより事業者を選定し、市内観光資源等調査、コース設定等を業務委託して市内全域の観光資源を網羅した周遊観光のモデルコースを6コース作成した。春夏を中心に必要な市内観光スポットの写真撮影を実施した。
成果		今回の市内周遊観光コースづくり業務委託によって、つくば市全域をまんべんなく紹介することができる周遊コースを6コース設定することができた。また、つくば霞ヶ浦りんりんロードや牡丹園などで桜や牡丹、シャクヤクなどの春、夏を中心とした写真を撮影することができた。
課題	業務	本委託事業における地域事業者へのヒアリングから、周辺地域と中心地域の人流促進強化を望む声が多く上がる一方で、周辺地域の高齢化、発信力不足、コロナ禍をきっかけに事業の縮小や閉業が進む実態が浮き彫りになった。
	組織、予算等	特になし。
改善目標		来年度以降作成した6コースをPRし、随時コースの見直し拡充をしていくことで、本企画のターゲット層に周辺地域の魅力を認知させ、交流人口や関係人口の人流促進を図っていきたい。

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	505 サイエンスツアー事業											
予算科目	01-070103-14					観光振興に要する経費					担当部課	経済部観光推進課
市長公約											係名	観光振興係
戦略プラン	I-2	2	2	体験型観光の推進							新規・継続	継続
											事業分類	自治事務（任意）
											事業体制	補助金（直接）
個別計画	第3次つくば市観光基本計画										事業期間	毎年度
根拠法令等	つくばサイエンスツアー推進事業に係る協定										SDGs	

事業の概要

対象	市民、観光客									
目的	研究機関の集積する筑波研究学園都市の特性を活かし、研究機関等と連携し市内外からの誘客を図る。									
概要 (取組内容)	つくばサイエンスツアー実行委員会（事務局：茨城県）から（一財）茨城県科学技術振興財団つくばサイエンスツアーオフィスへ事業委託する。主な事業としては、サイエンスツアーバスを活用したイベントの企画・催行、企業・団体からの見学相談対応、教育旅行の誘致活動等を行い、学校団体を中心に、一般団体や個人をつくばの研究機関等へ誘客する。									

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
事業費	予算額	(千円)	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000
	決算額	(千円)	6,894	11,000	11,000	0	0
	内訳	一般財源	(千円)	6,894	11,000	11,000	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	684	1,362	1,382	1,382	1,382
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.10	0.20	0.20	0.20
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	有	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	HP等での情報発信、科学実験工作教室、夏休みのイベント等の開催
企画・立案、計画	－
実行	－
評価、検証	－

指標の推移

1	指標名	サイエンスツアー利用者数 (人)					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	15,800.0	15,800.0	15,800.0	15,800.0	15,800.0	15,800.0
	実績	11,976.0	2,150.0	4,625.0	15,668.0	17,111.0	0.0
	指標の概要	(個別施策 I-2-②豊かな資源をいかした観光の振興) つくばサイエンスツアーオフィスを通じてサイエンスツアーに参加した人数					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		例年行っているサイエンスツアーバスを活用した夏休みのイベントに加え、秋にも茨城デスティネーションキャンペーンの一環として、イベントを開催し誘客促進を図った。
成果		夏休みに恒例の謎解きイベントを開催し、コロナ前を上回る3,048人に参加いただけた。さらに、茨城デスティネーションキャンペーン期間中に、サイエンスカフェや「地球の歩き方宇宙兄弟」と連携した重ね押しスタンプラリーを開催することで、全国的にサイエンスツアーをPRすることができた。また、ツアー相談では、例年を大きく上回る数の海外団体（主に教育団体）を受け入れし、国際的なPRに寄与した。
課題	業務	令和6年4月からサイエンスツアーバスが大幅減便されることから、バスを活用したイベント催行等を見直す必要がある。
	組織、予算等	茨城県科学技術振興課と連携し、サイエンスツアー実行委員会に参画する。
改善目標		増加傾向である教育旅行の売り込みを引き続き強化していく。

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	－

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	040 筑波山観光用水湧水対策事業（旧：筑波山観光用水安定供給事業）									
予算科目	01-070103-11 観光施設整備に要する経費					担当部課	経済部観光推進課			
市長公約	131						係名	観光施設係		
戦略プラン	I-2	2	2	体験型観光の推進			新規・継続	継続		
							事業分類	自治事務（任意）		
							事業体制	一部委託		
個別計画							事業期間	毎年度		
根拠法令等							SDGs			

事業の概要

対象	市民、観光客
目的	筑波山頂の水量不足を解消し、観光用水の安定供給を図る。
概要 (取組内容)	筑波山観光用水である筑波山頂水道の水源の湧水量をモニタリングし、湧水状況を継続的に調査する。また、緊急対策として、老朽化し漏水が発生した管路の更新を検討していく。 令和5年度は、女体山頂から御幸ヶ原、御幸ヶ原から男体山頂までの用水管改修設計業務を行う。

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	151,089	423	20,423	143,049	101,721	
	決算額	(千円)	130,815	344	15,337	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	19,299	344	9,433	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	111,516	0	5,904	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	6,834	1,703	5,180	6,907	6,907	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.00	0.25	0.75	1.00	1.00
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	関係者への湧水量の情報提供
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	特になし

指標の推移

1	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		湧水量の調査を実施し、渇水期等における対策会議を開催。既存管の漏水報告があったため、令和6年度工事に向け、筑波山山頂における老朽化した給水管の改修設計業務を実施した。
成果		関係機関と連携し、渇水期における施設の影響を最小限に留めた。また、令和6年度工事に向けての設計業務を完了させた。
課題	業務	筑波山山頂にある施設は自然湧水を利用しているため、渇水や凍結等の施設トラブルに対する迅速な対応や経過観察を継続して行う必要がある。
	組織、予算等	給水管の工事においては水道法における水道技術管理者の配置が必須となる。事業を進めるため資格を持った職員の配置が必要である。
改善目標		老朽化し破損している給水施設の改修及び湧水量の状況把握を継続して実施し、渇水期の対応を検討する。

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取組む必要性が高い。

方向性

方向性	拡大・拡充	
理由	湧水量が安定しない自然湧水を活用していることから、引き続きモニタリングと限られた資源の有効活用方法を検討し改善する必要がある。	

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	038 観光PRの実施										
予算科目	01-070103-14 観光振興に要する経費					担当部課	経済部観光推進課				
市長公約							係名	観光振興係			
戦略プラン	I-2	2	3	観光PRの実施			新規・継続	新規			
							事業分類	自治事務（任意）			
							事業体制	一部委託			
個別計画	第3次つくば市観光基本計画					事業期間	毎年度				
根拠法令等	特になし					SDGs					

事業の概要

対象	市民、観光客									
目的	つくば市への観光誘客を図り、観光需要の拡大に寄与する。									
概要 (取組内容)	まつりつくば、つくばフェスティバル、梅まつりなどのイベント等においてつくば市の観光PRを実施する。 観光PR動画や観光スポットの写真などをマスメディア等に提供し市内外に広くPRを実施する。 高速道路における守谷や佐野のサービスエリア等につくば市の観光PRのチラシを設置し、車での来訪者をターゲットにPRを行う。 拡散力のあるSNS（Twitter、Instagram）を活用して、ターゲットを意識した情報発信を行う。 つくば市HPおよびつくスマアプリでの情報発信を行う。									

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	1, 150	2, 490	2, 152	3, 200	3, 200	
	決算額	(千円)	440	1, 658	1, 449	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	440	1, 658	1, 449	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	6, 842	6, 957	5, 563	4, 872	4, 872	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1. 00	1. 00	0. 70	0. 60	0. 60
		正職員時間外勤務	(時間)	3. 00	60. 00	300. 00	300. 00	300. 00
		会計年度任用職員有無	(一) 無	有	有	有	有	

市民参加の取組状況

共有、理解	-
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	-

指標の推移

1	指標名	観光大使派遣イベント回数 (日)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0
	実績	12.0	0.0	3.0	2.0	16.0	0.0
	指標の概要	観光大使を派遣しつくば市の観光PRを実施したイベント日数。令和2年度は新型コロナウイルスの影響で派遣なし。					

2	指標名	インバウンド向けウェブサイトアクセス数 (PV)					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	6,500.0	6,500.0	6,500.0	6,500.0	10,000.0	10,000.0
	実績	6,314.0	3,596.0	3,954.0	20,303.0	53,557.0	0.0
	指標の概要	Web上の訪日観光メディアMATCHAページのアクセス数					
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		つくばフェスティバルやまつりつくばを現地開催し、つくば市の魅力をPRした。 また、令和4年度作成の観光PR動画および写真について、SNSへの掲出や各種メディアへの提供を行い、広くつくば市の観光をPRした。
成果		SNSでの積極的な情報発信を行い、フォロワー数がTwitterは約630人増加し、Instagramは約550人増加させることができた。また、例年行っているサービスエリアへのチラシの設置に加え、前年度作成したPR動画を利用し、SNSや観光案内所サイネージ等での掲出を行うことができた。 さらに、観光PR動画および写真をテレビ制作会社等に提供し、広くつくば市の観光をPRできた。
課題	業務	茨城デスティネーションキャンペーンが終了し、市外へのPRの機会が減少する可能性がある。
	組織、予算等	特になし
改善目標		引き続き茨城県と連携し、メディア等を利用することで市内外へ広くPRを実施する。

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	